

H25

アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	11 マネジメントの強化・高度化				重要度	A	
番号・取組事業名	11001	職員の綱紀粛正	作成日	H25.4.1	更新日	H26.3.31	
担当部署	030200	総務部 人事課	責任者	吉田 克夫	担当者	人事担当	
取組年度	H23	～	H27				
効果	その他改善						
最終目標	全職員が、高度な公務員倫理及びコンプライアンス意識を保持すること						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度	遅れている	公務員倫理, コンプライアンスに関する研修の実施・強化, コンプライアンスガイドブック等作成					
平成24年度	計画どおり	公務員倫理, コンプライアンスに関する研修の実施・強化					
平成25年度	実施	公務員倫理, コンプライアンスに関する研修の実施・強化					
平成26年度	実施	公務員倫理, コンプライアンスに関する研修の実施・強化					
平成27年度	完了	公務員倫理, コンプライアンスに関する研修の実施・強化					
成果指標	指標名	公務員倫理, コンプライアンスに関する研修				単位	回
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値	3	3	2	2	2	12
	実績値	3	2	2			
効果額	歳入増加	計画額					0
		実績額	0	0	0	0	0
	歳出削減	計画額					0
		実績額	0	0			0
	計	計画額	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0
	見込まれる その他効果 (金額以外)		業務全体の適 正化・円滑化	業務全体の適 正化・円滑化	業務全体の適 正化・円滑化	業務全体の適 正化・円滑化	業務全体の適 正化・円滑化

H25

アクションプラン(平成25年度)

推進項目	11 マネジメントの強化・高度化				重要度	A			
番号・取組事業名	11001	職員の綱紀粛正	作成日	H25.4.1	更新日	H26.3.31			
担当部署	030200	総務部 人事課	責任者	吉田 克夫	担当者	人事担当			
	区分	取組内容・目標							
平成25年度	実施	公務員倫理, コンプライアンスに関する研修の実施・強化							
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
1	新規採用職員を対象とした公務員倫理, コンプライアンスに関する研修の実施			○					
2	管理職層を対象とした公務員倫理, コンプライアンスに関する研修の実施					○			
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	新規採用職員研修を対象に, 公務員倫理, コンプライアンスに関する研修を実施した。(4月3日)					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	公務員倫理, コンプライアンスに関する研修		計画値	単位	回	実績値	単位	回
					2			2	
	達成状況【成果】	達成	コメント	新規管理職を対象に, リスクマネジメント, コンプライアンスに関する研修を実施した(11月5, 6日)。					
	進捗状況【活動】	計画どおり							
計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント						
	計画値	無							
評価	評価者	石黒 博	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	研修内容の見直しを行うとともに, 各職場内での取り組みを強化すること。					
	方向性	取組み強化							

H25

アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	11 マネジメントの強化・高度化				重要度	A		
番号・取組事業名	11003	行政経営方針・アクションプランの進行管理	作成日	H25.4.1	更新日	H26.3.31		
担当部署	020200	企画部 行政改革推進課	責任者	岩崎 克康	担当者	行政改革推進担当		
取組年度	H23	～	H27					
効果	その他改善							
最終目標	・H27までに行政経営方針に位置付ける経営健全化の数値目標の達成 ・H27までの各年度、アクションプランに位置付ける取組みの進行管理及び評価の実施							
年度	区分	取組内容・目標						
平成23年度	遅れている	・アクションプランの新規募集、上半期の報告、年度末の報告については計画どおり実施 ・外部評価については、年度末の報告を基に、次年度から実施予定						
平成24年度	計画どおり	・進捗管理(新規募集、上半期報告、年度末実績報告)は計画どおり実施 ・平成23年度の取組みについて、行政改革推進委員会に報告(外部評価)。						
平成25年度	実施	・行政経営方針及びアクションプランの進行管理及び評価 ・アクションプランの各取組みの進捗100%を実現						
平成26年度	実施	・行政経営方針及びアクションプランの進行管理及び評価 ・アクションプランの各取組みの進捗100%を実現						
平成27年度	完了	・行政経営方針及びアクションプランの進行管理及び評価、経営健全化の数値目標の達成 ・アクションプランの各取組みの進捗100%を実現						
成果指標	指標名	財政推計上の収支不足額の解消				単位	千円	
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値	
	計画値	970,000	550,000	1,010,000	2,060,000	3,220,000	7,810,000	
	実績値	1,462,042	2,454,038	2,438,820				
効果額	歳入増加	計画額	654,234	238,831	336,054		1,229,119	
		実績額	485,487	605,402	1,013,590		2,104,479	
	歳出削減	計画額	611,907	855,748	1,154,761		2,622,416	
		実績額	976,555	1,848,636	1,425,230		4,250,421	
	計	計画額	1,266,141	1,094,579	1,490,815	0	0	3,851,535
		実績額	1,462,042	2,454,038	2,438,820	0	0	6,354,900
	見込まれる その他効果 (金額以外)							

H25

アクションプラン(平成25年度)

推進項目	11 マネジメントの強化・高度化				重要度	A	
番号・取組事業名	11003	行政経営方針・アクションプランの進行管理	作成日	H25.4.1	更新日	H26.3.31	
担当部署	020200	企画部 行政改革推進課	責任者	岩崎 克康	担当者	行政改革推進担当	
	区分	取組内容・目標					
平成25年度	実施	<ul style="list-style-type: none"> 行政経営方針及びアクションプランの進行管理及び評価 アクションプランの各取組みの進捗100%を実現 					
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	各取組みの前年度の進捗・実績について、評価者による評価を実施			○			
2	新規取組みについて募集			○			
3	アクションプランの公表(24年度実績報告・25年度計画)				○		
4	行政改革推進委員会による外部評価の実施					○	
5	上半期進捗状況の取りまとめ					○	
6	アクションプランの公表(上半期進捗状況)						○
7	年度末実績報告の取りまとめ						○
8							
9							
10							
進捗							
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度決算において、行政経営方針に掲げる財政指標(経常収支比率・将来負担比率・財政基盤強化度)を達成。指標の見直しの検討を含め、行政改革推進委員会に報告。 アクションプランについては計画どおり進行。ホームページにおけるシートの公開は、行政改革推進委員会への報告後に実施する。 			
進捗・実績							
年度末	成果指標名	財政推計上の収支不足額の解消		計画値	単位 千円 1,010,000	実績値	単位 千円 2,438,820
	達成状況【成果】	その他	コメント	目標額の達成に向け、各取組は順調に進んでいる。引き続き、新規取組も加えながら、早期達成を目指す。 平成25年度の行政改革推進委員会において行政経営方針に掲げる財政指標の見直しを行ったが、アクションプランで目指す収支不足額は、現状どおり7,810百万円を目標額とする。			
	進捗状況【活動】	計画どおり					
	計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント			
計画値		無					
評価	評価者	石黒 博	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	特に取組み効果の大きい事業についての進行管理を徹底していくこと。			
	方向性	継続実施					

H25

アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	11 マネジメントの強化・高度化				重要度	A	
番号・取組事業名	11004	柏市保健所運営基本計画の進捗管理	作成日	H25.4.1	更新日	H26.3.31	
担当部署	061500	保健所 総務企画課	責任者	山崎 彰美	担当者	企画担当	
取組年度	H23	～	H27				
効果	その他改善						
最終目標	目標の達成のため、保健所運営基本計画に掲げた具体の方策について取り組む。 目標 1「安全・安心な暮らしのために」 ① 市民が身近に感じる保健所を目指して ② 健康危機管理機能の強化と体制整備 2「健やかで活力ある暮らしのために」 ① 市民一人ひとりが積極的な健康づくりに取り組めるために ② 病気になったとしても安心して地域で暮らせるために						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度	計画どおり	保健所運営基本計画に明記した取り組みについて、概ね計画通り実施					
平成24年度	計画どおり	保健所運営基本計画の運用及び評価検証について、概ね計画通り実施					
平成25年度	実施	保健所運営基本計画の運用及び評価検証、保健所運営基本計画の中間見直し実施					
平成26年度	実施	保健所運営基本計画の運用及び評価検証					
平成27年度	完了	保健所運営基本計画の運用及び評価検証、次期保健所運営基本計画の策定準備					
成果指標	指標名	保健衛生審議会への進捗状況の報告及び結果の公表回数				単位	回
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値	2	3	2	2	2	2
	実績値	2	3	2			
効果額	歳入増加	計画額					0
		実績額					0
	歳出削減	計画額					0
		実績額					0
	計	計画額	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0
	見込まれる その他効果 (金額以外)	具体的方策についての取り組み状況の評価を行い、保健所運営に役立てる	具体的方策についての取り組み状況の評価を行い、保健所運営に役立てる	具体的方策についての取り組み状況の評価を行い、保健所運営に役立てる	具体的方策についての取り組み状況の評価を行い、保健所運営に役立てる	具体的方策についての取り組み状況の評価を行い、保健所運営に役立てる	設定した目標の実現

H25

アクションプラン(平成25年度)

推進項目	11 マネジメントの強化・高度化				重要度	A			
番号・取組事業名	11004	柏市保健所運営基本計画の進捗管理	作成日	H25.4.1	更新日	H26.3.31			
担当部署	061500	保健所 総務企画課	責任者	山崎 彰美	担当者	企画担当			
	区分	取組内容・目標							
平成25年度	実施	保健所運営基本計画の運用及び評価検証, 保健所運営基本計画の中間見直し実施							
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
1	保健所の効果的な情報発信(保健所だよりの発行, ホームページの充実など)			○	○	○	○		
2	健康危機管理能力の向上(研修の実施, 訓練の実施)			○	○	○	○		
3	人材育成方針の運用(県職員派遣終了への対応, 効果的な人材確保, 自己啓発の推進)			○	○	○	○		
4	保健衛生審議会への進捗状況の報告					○	○		
5	保健所運営基本計画の見直し				○	○	○		
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	保健所運営基本計画で予定している事項については, 計画どおり進んでいる。具体的には, ①5月よりツイッターによる情報発信を開始, 7月に保健所だよりを発行, ②4月, 7月に健康危機対策訓練として保健所緊急メールを試行, ③船橋市・国との人事交流, 月一回の夜間自己啓発の実施, 等に取り組んだ。また, 計画の見直しについては, 第1回(平成25年8月29日)の保健衛生審議会にてご審議いただき, 計画案へのご意見をいただいた。議事及びその他の報告事項についてはホームページにて公表。					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	保健衛生審議会への進捗状況の報告及び結果の公表回数		計画値	単位	回	実績値	単位	回
					2		2		
	達成状況【成果】	達成	コメント	・第3回保健衛生審議会(平成25年10月31日開催)では, 保健所運営基本計画案の答申を受けた。議事及びその他の報告事項についてホームページにて公表。 ・健康危機管理の取り組みとして, 千葉県が実施する健康危機管理訓練への参加や, 保健所が主催する研修会等を開催し, 情報共有並びに能力向上を推進。 ・自己啓発研修の定期的な開催。 ・キャリアパスに基づく評価を実施。 ・定期的な保健所だよりの発行, ツイッター・メールなどを活用し, 適時情報発信を実施。					
	進捗状況【活動】	計画どおり							
計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント						
	計画値	無							
評価	評価者	関口 隆明	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	運営基本計画の策定が完了し, それに沿って業務が進められている。26年度も計画に基づき運営していただきたい。					
	方向性	継続実施							

H25

アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	11 マネジメントの強化・高度化				重要度	A	
番号・取組事業名	11005	消防局長経営方針に基づく事業の展開	作成日	H25.4.1	更新日	H26.3.31	
担当部署	400600	消防局企画統制課	責任者	羽石 清二	担当者	企画統制担当	
取組年度	H23	～	H27				
効果	その他改善						
最終目標	消防局長経営方針に基づいたマネジメントサイクルを確立し、効果的な消防行政の運営に努める。消防局では、『市民の安全性を高める消防行政』という基本理念の下、平成20年度から消防局長経営方針を定め、総合的かつ戦略的な消防行政を積極的に推進している。そして、この経営方針の実現のために、平成21年3月に「柏市消防局人材育成基本方針」を策定し、人材育成・研修体制の強化に取り組んでいる。						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度	遅れている	経営方針の公表（消防局ホームページ）と事業の進捗管理（局長によるヒアリング）					
平成24年度	計画どおり	経営方針の公表（消防局ホームページ）と事業の進捗管理（局長によるヒアリング）					
平成25年度	実施	経営方針の公表（消防局ホームページ）と事業の進捗管理（局長によるヒアリング）					
平成26年度	実施	経営方針の公表（消防局ホームページ）と事業の進捗管理（局長によるヒアリング）					
平成27年度	完了	経営方針の公表（消防局ホームページ）と事業の進捗管理（局長によるヒアリング）					
成果指標	指標名	消防局長ヒアリングの回数				単位	回
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値	3	3	3	3	3	3
	実績値	3	3	3			
効果額	歳入増加	計画額	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0		
	歳出削減	計画額	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0		
	計	計画額	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)	統合した組織運営を行うことで、戦略的な事業展開が可能となり、効率性・市民の安全性の向上						

H25

アクションプラン(平成25年度)

推進項目	11 マネジメントの強化・高度化				重要度	A	
番号・取組事業名	11005	消防局長経営方針に基づく事業の展開	作成日	H25.4.1	更新日	H26.3.31	
担当部署	400600	消防局企画統制課	責任者	羽石 清二	担当者	企画統制担当	
	区分	取組内容・目標					
平成25年度	実施	経営方針の公表(消防局ホームページ)と事業の進捗管理(局長によるヒアリング)					
取組項目			4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
1	消防局長経営方針の公表(消防局ホームページ)		○				
2	消防局重点事業の公表(消防局ホームページ)		○				
3	消防局長ヒアリングの実施		○				
4	事業進捗状況調査(中間)の実施			○			
5	消防局長 中間ヒアリングの実施				○		
6	次年度消防局長経営方針及び重点政策の策定				○		
7	事業進捗状況調査(最終)の実施					○	
8	消防事業方針の検討				○		
9	消防事業方針の決定					○	
10							
進捗							
	上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<ul style="list-style-type: none"> 経営方針及び重点事業の公表について、計画通り完了。 事業進捗管理について、計画通り進行中。(当初ヒアリング1回、中間ヒアリング1回) 		
進捗・実績							
	年度末	成果指標名	消防局長ヒアリングの回数	計画値	単位 3	実績値	単位 3
		達成状況【成果】	達成	コメント	・消防局長経営方針に基づくマネジメントサイクルの確立のため、定期的に事業進捗ヒアリングを行い、総合的な消防行政の運営に努めた。		
		進捗状況【活動】	計画どおり				
		計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント		
	計画値		無				
評価	評価者	石黒 博	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	再任用制度の効果的な活用と数年増加する退職者への対応を適切に行うこと。			
	方向性	継続実施					

H25

アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	11 マネジメントの強化・高度化				重要度	B	
番号・取組事業名	11006	広告収入事業		作成日	H25.4.1		
担当部署	020100	企画部企画調整課		責任者	飯田 晃一		
取組年度	H24	～	H25				
効果	その他改善						
最終目標	各部署でバラバラに行われている広告収入事業を総合的に管理することで、施策に統一性を持たせる。その上で、現在行われている広告事業以外でも積極的に行政財産を活用できないか取り組みを検討し、新たな財源の確保とする。						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度							
平成24年度	計画どおり	柏市における広告事業の問題点等の整理を行った。					
平成25年度	完了 (事業終了)	「ネーミングライツ導入に係るガイドライン」及び「審査委員会設置要領」を制定し、運用を開始した。					
平成26年度							
平成27年度							
成果指標	指標名	業務進捗状況				単位	%
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値		50	100			0
	実績値		50	100			0
効果額	歳入増加	計画額	0	0			0
		実績額	0	0			0
	歳出削減	計画額	0	0			0
		実績額	0	0			0
	計	計画額	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)							

H25

アクションプラン(平成25年度)

推進項目	11 マネジメントの強化・高度化				重要度	B				
番号・取組事業名	11006	広告収入事業	作成日	H25.4.1	更新日	H26.3.31				
担当部署	020100	企画部企画調整課	責任者	飯田 晃一	担当者	企画調整担当				
	区分	取組内容・目標								
平成25年度	完了 (事業終了)	「ネーミングライツ導入に係るガイドライン」及び「審査委員会設置要領」を制定し、運用を開始した。								
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月			
1	収集した情報を基に、柏市が未着手なものを整理した上で今後取り組む可能性があるかどうかについて、検討する。			○	○					
2	可能性のある事業を具体化し、その運用方針を検討。					○	○			
3	戦略、長期的目標の設定。						○			
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
進捗										
	上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	ネーミングライツの運用の可能性について検討している。					
進捗・実績										
	年度末	成果指標名	業務進捗状況		計画値	単位	%	実績値	単位	%
						100			100	
		達成状況【成果】	達成	コメント	「ネーミングライツ導入に係るガイドライン」及び「審査委員会設置要領」を制定し、各施設所管部署へ周知した。					
		進捗状況【活動】	完了 (事業終了)							
		計画変更 (次年度以後)	取組内容	無	コメント					
			計画値	無						
評価	評価者	岩崎 克康	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする							
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	ガイドライン策定により各部署でネーミングライツの実施が可能となったが、保留とした事項等もあることから社会状況等を注視し続けること						
	方向性	完了 (目的達成)								

H25

アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	11 マネジメントの強化・高度化				重要度	B	
番号・取組事業名	11007	小中学校マイプラン事業		作成日	H25.4.1		
担当部署	270100	学校教育課学校財務室		責任者	荒巻幸男		
取組年度	H24	～	H27				
効果	その他改善						
最終目標	<p>従来、予算の範囲で全小中学校に対してほぼ同額を事業費として配分していたが、新たな事業実施要領のもとで、各校の翌年度事業計画の内容を評価委員会で審査し、学校規模を反映させることで、より適正な予算配分を行うもの。</p> <p>また、申請様式を変更することで、各校の事業内容を各校が抱える課題や目標と関連付け、事業の効果的な執行を目指すもの。</p>						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度		平成24年度事業から適用する「柏市マイプラン事業実施要領」を制定。同要領に基づき、平成24年度事業案を評価し、予算に反映。					
平成24年度	進んでいる	平成24年度事業の執行。平成25年度事業案を評価し、予算に反映。一部評価方法の見直しを図った。					
平成25年度	実施	平成25年度事業の執行。平成26年度事業案を評価し、予算に反映。					
平成26年度	実施	平成26年度事業の執行。平成27年度事業案を評価し、予算に反映。					
平成27年度	完了	平成27年度事業の執行。平成28年度事業案を評価し、予算に反映。					
成果指標	指標名	事業の直接の対象となる児童生徒数の割合				単位	%
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値		70	75	80	85	85
	実績値		86	86			0
効果額	歳入増加	計画額					0
		実績額		0			0
	歳出削減	計画額	0				0
		実績額	0	0			0
	計	計画額	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)	<p>事業内容の評価により、学校側の積極的なアイデア創出が期待できる。各校児童生徒一人あたり事業費の平均化。</p> <p>事業内容の評価により、学校側の積極的なアイデア創出が期待できる。各校児童生徒一人あたり事業費の平均化。</p> <p>事業内容の評価により、学校側の積極的なアイデア創出が期待できる。各校児童生徒一人あたり事業費の平均化。</p> <p>事業内容の評価により、学校側の積極的なアイデア創出が期待できる。各校児童生徒一人あたり事業費の平均化。</p> <p>事業内容の評価により、学校側の積極的なアイデア創出が期待できる。各校児童生徒一人あたり事業費の平均化。</p>						

H25

アクションプラン(平成25年度)

推進項目	11 マネジメントの強化・高度化				重要度	B		
番号・取組事業名	11007	小中学校マイプラン事業	作成日	H25.4.1	更新日	H26.3.31		
担当部署	270100	学校教育部学校財務室	責任者	荒巻幸男	担当者	関根江里子		
	区分	取組内容・目標						
平成25年度	実施	平成25年度事業の執行。平成26年度事業案を評価し、予算に反映。						
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
1	各学校に、新年度予算の配分額を通知し、執行を開始。			○				
2	各学校に、翌年度の事業計画書提出を依頼。				○			
3	提出された事業計画書を審査。					○		
4	審査結果と予算内示額との調整。						○	
5	各学校に審査結果を通知。						○	
6								
7								
8								
9								
10								
進捗								
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<ul style="list-style-type: none"> 各校において事業計画書を元に、学力向上支援員や部活動講師の依頼、観劇の委託等を実施し、計画的な予算執行をしている。 10月以降、各学校に翌年度の事業計画書の提出を依頼し、評価委員会で内容を審査する予定。 				
進捗・実績								
年度末	成果指標名	事業の直接の対象となる児童生徒数の割合	計画値	単位	%	実績値	単位	%
				75		86		
	達成状況【成果】	達成	コメント	<ul style="list-style-type: none"> 各校において事業計画書を元に、学力向上支援員や部活動講師を依頼し、観劇の委託等を実施し、計画的な予算執行を行った。 平成26年度の事業計画書の提出により、評価委員会で内容を審査し、審査結果と配当予算額を各学校に内示した。 				
	進捗状況【活動】	計画どおり						
計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント					
	計画値	無						
評価	評価者	大内 俊郎	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	本件事業は、限られた予算を有効に活用してもらおうと各学校からの提案に基づき、評価委員会が書類審査を行い、優れた事業の提案に対して予算の上乗せを行っている。各学校に対して、予算の有効活用という意識付けの点では今後とも継続すべき事業であると考え。さらに、内容を充実すべく、例えば、年間優秀事業などを評価に加えて、インセンティブを与えてはどうか。				
	方向性	継続実施						

H25

アクションプラン全体計画（平成25～27年度）

推進項目	11 マネジメントの強化・高度化				重要度	B	
番号・取組事業名	11008	学校配当予算における予算編成方法の見直し	作成日	H25.4.1	更新日	H26.3.31	
担当部署	270100	学校教育部学校財務室	責任者	荒巻 幸男	担当者	関根 江里子	
取組年度	H25	～	H27				
効果	その他改善						
最終目標	<p>現在、学校財務室予算の一部を各学校に配当し、学校長権限で予算を執行している。学校配当予算については、各校から提出された要求書をもとに、前年度実績等を勘案しながら査定していたが、児童・生徒数の変動を配当予算に十分反映できていないなどの課題が生じて来た。このため、教育予算のより公平な配分と学校経営力の向上を目的として、平成26年度予算編成から学校規模に応じた予算配当基準額を設定し予算編成を実施することとした。</p> <p>また、学校財務室の指定する7科目（消耗品、備品、修繕料等）の総額の範囲内で学校が予算配分を変更できるものとし、より学校の実態に合わせた予算配分を目指して行く。今後、基準額の見直し等を図りながら、実態に合った予算配分を進めることにより、予算執行率を向上させ、平成27年度決算時95%を目標とする。</p>						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度							
平成24年度							
平成25年度	実施	H26年度予算編成から学校配当予算の主要な7科目について、予算配当基準額を2階建て方式で算定する。学校が共通して必要とする経費を学校割として基礎配分し、児童・生徒数や学級数に応じて増加する経費を児童・生徒割または、学級割として比例配分する。基礎配分と比例配分の合計値を配当基準額とし、各学校に基準額を元に予算要望書を作成するよう依頼する。その後、予算要望書を査定し、財政課へ予算見積書を提出する。					
平成26年度	実施	H27年度学校予算編成時に基礎配分と比例配分の割合を前年度決算額等を参考に見直す。					
平成27年度	完了	H28年度学校予算編成時に基礎配分と比例配分の割合を前年度決算額等を参考に見直す。					
成果指標	指標名	予算執行率(配当予算指定7科目)				単位	%
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値			93	94	95	0
	実績値			93			0
効果額	歳入増加	計画額					0
		実績額					0
	歳出削減	計画額					0
		実績額					0
	計	計画額	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)			①学校の実態に合わせた効率的な予算配分を実現すること。②学校側が長期的な視点で予算の配分・執行を考えることで学校の経営力の向上を図ること。	①学校の実態に合わせた効率的な予算配分を実現すること。②学校側が長期的な視点で予算の配分・執行を考えることで学校の経営力の向上を図ること。	①学校の実態に合わせた効率的な予算配分を実現すること。②学校側が長期的な視点で予算の配分・執行を考えることで学校の経営力の向上を図ること。		

H25

アクションプラン(平成25年度)

推進項目	11 マネジメントの強化・高度化				重要度	B			
番号・取組事業名	11008	学校配当予算における予算編成方法の見直し	作成日	H25.4.1	更新日	H26.3.31			
担当部署	270100	学校教育部学校財務室	責任者	荒巻 幸男	担当者	関根 江里子			
		区分	取組内容・目標						
平成25年度	実施	H26年度予算編成から学校配当予算の主要な7科目について、予算配当基準額を2階建て方式で算定する。学校が共通して必要とする経費を学校割として基礎配分し、児童・生徒数や学級数に応じて増加する経費を児童・生徒割または、学級割として比例配分する。基礎配分と比例配分の合計値を配当基準額とし、各学校に基準額を元に予算要望書を作成するよう依頼する。その後、予算要望書を査定し、財政課へ予算見積書を提出する。							
取組項目			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月			
1	各学校の新年度予算配当基準額を決定			○					
2	各学校に、新年度の予算要望書の作成を依頼			○					
3	各学校から提出された予算要望書の内容確認			○					
4	各学校の新年度予算要望についてヒアリング			○					
5	学校財務室による学校予算要望の査定・調整				○				
6	財政課へ予算見積書の提出				○				
7	新年度予算内示後、各学校へ配当予算の内示					○			
8									
9									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	平成26年度からの学校配当予算に係る予算編成手法の一部見直しについて、校長会議や教頭会議での説明のほか、比較的影響が大きい学校には個別に説明を行い、趣旨の共通理解に努めた。これにより、各校の理解のもと計画通り事務を進行出来た。					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	予算執行率(配当予算指定7科目)		計画値	単位	%	実績値	単位	%
	達成状況【成果】	達成(効果次年度)	コメント		93			93	
	進捗状況【活動】	計画どおり		学校配当予算に係る大きな改革であったが、学校規模に応じた公平な配分と学校長の裁量で予算科目の配分を変更できる点が学校側から評価された。					
	計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント					
計画値		無							
評価	評価者	大内 俊郎	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	本件事業については、学校の基本的な運営に係る予算の配分を従前の学校要望に基づくものから基本割と規模割の2段階として客観的な基準に基づくものに改めたもので、どの方面からも理解が得られる見直しである。今後はさらに、割り当ての総額自体の適正化の見極めを行い、めりはりのある予算執行としていきたい。					
	方向性	継続実施							